

# 福祉マップ事業だより（第29号） 屯田二番通東町内会

—お互いに支えあう、誰もが安心して暮らせる町内会を目指して—

## ◇ 認知症の理解と支援について

認知症を正しく理解し、誤解と偏見を解消し、温かい目で接することが求められています。去る2月19日（月）開催の「認知症に関する講座」の中で配布された資料から、その一部を紹介します。（2024年2月発行「ひまわり72号」でも一部掲載。）

### ○ 認知症とは？

1. 認知症とは、脳の障害が原因で一度獲得された認知機能（記憶や判断力）が低下していく病気です。
2. いろいろな原因で脳の細胞が死滅してしまうことで、脳の動きに不都合が起きています。
3. そのために様々な障害が起こり、日常生活に支障をきたしている状態です。（およそ6ヶ月以上継続している）

### ○ 認知症の人と関わる時の心構え



- さりげない見守りの姿勢と聴く姿勢
- 子供ではなく人生を生きてきた人を尊重する
- できる部分に視点を置いて・ 目線を合わせてゆっくりと話す
- 情報は短く伝える
- 本人を試すような表現をしない 「私、誰かわかる？」
- 物忘れを責めるような言葉は使わない 「さっきも言ったでしょう」等
- 無視、無言は厳禁 ・ 強制的な言葉は使わない
- 無理強いするような行為をしない
- ごまかしやだます等、その場しのぎの対応をしない
- 本人の感じている世界を否定しない

### ○ 認知症の人への支援とは、3つの「ない」

1. 驚かせない 2. 急がせない 3. 自尊心を傷つけない
- \* 基本は、人と人が当たり前にかわす（気遣いや心遣い）
  - \* 認知症を正しく理解して、偏見を持たずに